

2012年7月13日
株式会社日立製作所

機器のさまざまな情報を収集・蓄積し、共有・利活用することで 機器のライフサイクル管理を実現する「Global e-Service on TWX-21」を提供

日立建機の業務ノウハウを活用した SaaS 型機器ライフサイクル支援サービス

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、このたび、機器の製造・販売を、日本を含むグローバル市場で事業展開する国内企業向けに、機器の製造、販売、稼働や保守などの情報を収集・蓄積し、その情報を共有・利活用することで、機器のライフサイクル管理を実現する SaaS^{*1}型機器ライフサイクル支援サービス「Global e-Service on TWX-21」(以下、本サービス)の申し込み受付を2012年7月19日から開始し、9月3日から提供を開始します。

*1 SaaS (Software as a Service) : 必要な機能を必要な分だけサービスとして利用できるようにしたソフトウェアもしくは提供形態のこと

近年、新興国・地域の企業の台頭により、機器を製造・販売する国内企業は、機器単体の性能、高機能化を追求していく従来型のビジネスモデルから、さらなる収益が期待できるメンテナンス、保守や部品販売などのアフターサービス事業への関心が高まっています。また、顧客満足の観点からも、販売した機器の継続的な管理、安定稼働を実現することが、新興国・地域の企業との差別化につながっていきます。

さらに、日本企業がグローバルでの事業展開を加速する中、販路拡大の担い手である各国・地域の販売代理店では、自社で IT インフラを所有することによる維持・運用コストや人的リソースを抱えることが大きな経営上の負担となっており、グローバル市場での低コストで効率的な製品管理を行うことが求められています。

本サービスは、日立グループで建設機械事業を担う日立建機株式会社(執行役社長:辻本 雄一/以下、日立建機)が、グローバル市場におけるサービス事業において12年にわたり、世界100以上の国・地域で運用し、蓄積してきた業務ノウハウを結集した20言語をサポートする「Global e-Service」を活用したものです。今回、本サービスの提供基盤システムとして、日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」(ハーモニアス クラウド)のラインアップで国内最大規模の企業間ビジネスメディアサービス「TWX-21」の SaaS 事業支援サービスを利用し、「Global e-Service」の機能を提供します。

日立建機は、自社で開発した「Global e-Service」を活用し、販売した建設機械について製造年月日や仕様、販売代理店などの建設機械自体に関するデータのほか、機械の稼働状況などをリアルタイムに監視しています。これらの情報は、日立建機グループの従業員のほか、各国・地域の販売代理店やユーザーも閲覧でき、建設機械のメンテナンス時期や保守部品の調達といったサービス事業の最適化を実現し、ユーザーが所有する建設機械の故障を減らすことで、建設機械ユーザーの作業遅延などを極力減少させることにつながっています。

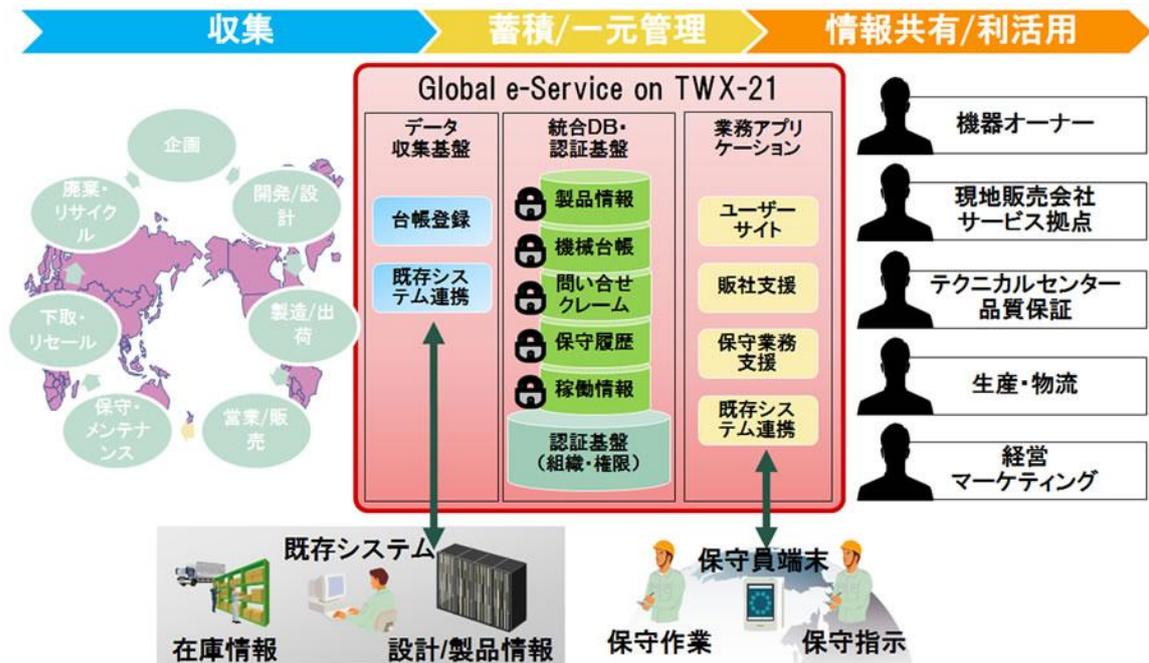
本サービスは、SaaS の形態で提供しているため、新たなシステム構築などが不要なことから、最短で約1ヶ月^{(*)2}で導入できるほか、運用リソースなどのコストが削減できます。また、日立建機が開発した業界最高水準の保守業務ノウハウを低コストで利用することが可能です。本サービスを活用することで、農業機械、医療機器、工作機械などを製造・販売する企業や販売代理店などは、販売した機器のライフサイクル管理が容易になり、メンテナンスなどのアフターサービスを拡充できるほか、取得した情報を分析し、設計・販売・保守部門などで活用することにより、新製品開発や販売、アフターサービスの改善などに役立てることができます。また、その機器を所有するユーザーが、機器の安定稼働により機会損失を極力減らすことができるため、業務や提供するサービスの信頼性が高まります。なお、本サービスは、日本語、英語、中国語に標準対応しています。

^{(*)2} 導入コンサルティングからインターフェース構築までの最短期間

日立は、本サービスで、2015年度までに約17億円の売上をめざします。さらに今後、世界中で稼働する機器から通信機器を介して収集した M2M^{(*)3}のビッグデータを一元管理・分析するサービスを開発し、お客様への新たな価値創出をめざしていきます。

^{(*)3} M2M(Machine-to-Machine)：機械同士が、人間を介さず、ネットワークを通じて直接情報のやりとりをするシステム

■「Global e-Service on TWX-21」のシステム構成図



■サービスの価格および提供開始時期

サービス名称	価格(月額・税込)*	申し込み 受付開始	サービス 提供開始時期
Global e-Service on TWX-21 (機械管理/ドキュメント管理)	525,000円～ (税抜:500,000円～)	2012年7月19日	2012年9月3日

*最小ユーザー数:10ユーザー

*稼働環境(OS): Microsoft Windows® XP Professional 32bit、Microsoft Windows® 7 Professional 32bit、
Microsoft Windows® 7 Professional 32bit、64bit

*対応ブラウザ:Internet Explorer 8、Internet Explorer 9

■「Global e-Service on TWX-21」に関する Web サイト

<http://www.hitachi.co.jp/gest/nr20713/>

■企業間ビジネスメディアサービス「TWX-21」について

「TWX-21」は1997年にサービス開始し、現在では、約400業種、約44,500社(20か国・地域)に利用されている国内最大級の企業間商取引基盤です。「TWX-21」の基盤を活用し、複数の企業間活動にかかわる設計・製造管理や受注管理など企業の業務システムを支援するクラウドサービスとして、各種業種、業態別に提供するアプリケーションサービスの拡充を図っています。

また、サービス開始以来、ユーザー企業のニーズをいち早く把握するため、「グローバルヘルプデスク」および「ユーザー連絡会」を設置し、利用ユーザーが安心して使い続けられるサービスの環境を提案しています。今後も、「TWX-21」上で実現するさまざまなアプリケーションサービスの開発とさらなるメニューの拡充を図っていきます。

<http://www.twx-21.hitachi.ne.jp/>

■「TWX-21」SaaS 事業支援サービスについて

<http://www.twx-21.hitachi.ne.jp/contents/partners/SaaS/index.html>

■日立のクラウドソリューション「Harmonious Cloud」について

<http://www.hitachi.co.jp/cloud/>

■Hitachi Innovation Forum 2012出展について

日立は、2012年7月19日(木)～20日(金)に東京国際フォーラムで開催するHitachi Innovation Forum 2012において、今回発表した「Global e-Service on TWX-21」を紹介します。

<http://iforum.hitachi.co.jp/>

■他社商標注記

- ・Microsoft、Windows および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・「Global e-Service」は、日立建機株式会社の日本国における登録商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 産業・流通システム営業統括本部
産業第二営業本部 日立グループ営業第一部 [担当:植田]
〒140-8573 東京都品川区南大井六丁目26番2号 大森ベルポート B 館
電話: 03-5471-2657 (ダイヤルイン)

以上

■「Global e-Service on TWX-21」の特長

1.日立建機グループが蓄積してきた機械製造・保守における業務ノウハウをもとにサービスを提供

「Global e-Service on TWX-21」は、世界中で稼働するさまざまな機器の稼働情報や保守履歴、保守部品の在庫状況といった機器ライフサイクルに関する多様な情報をグローバルに情報共有し、一台ごとに一元管理する仕組みを提供するサービスです。具体的には日立建機グループにおける業務ノウハウを反映した、拠点間・業務プロセス間における機械情報共有のための機械管理機能やカタログ・マニュアル情報共有のためのドキュメント管理機能により、グローバルな情報共有を実現します。情報共有においては利用者の業務、役割などに対応した参照権限の設定が可能です。これらの機能から得た情報を組み合わせて機器一台ごとに情報を一元管理することで、業務の効率化向上や所有機器の稼働状況および点検、メンテナンスなどの保守履歴管理など、アフターマーケット市場における収益拡大に繋がるさまざまなニーズに対応しています。

また、農業機械、医療機器、工作機械などの安定稼働が求められる機器を一元管理した情報をもとに監視、維持メンテナンスすることで、故障などによる機会損失を防ぎ売上拡大に寄与すると共に、保守サービスの現場作業の効率向上を図ることができます。

2.日立の IT ノウハウを生かしたクラウド(SaaS)サービスの提供

本サービスは、SaaS の形態でサービスを提供することにより、導入コンサルティングからインターフェース構築に要する期間が最短1か月となります。また、複数のアプリケーション群から必要なものだけ選択できるようにしただけでなく、管理台数やユーザー数に応じた従量制の課金体系にすることで、必要最小限の投資で導入することができるサービス体系となっています。

「Global e-Service on TWX-21」を運用する「TWX-21」は、国内屈指の堅ろうなデータセンタに設置された、日立のクラウドサービス提供の拠点である「Harmonious Cloudセンタ」で運用されており、ネットワークからアプリケーションに至るまで何層ものセキュリティ対策を施しています。そのため、入力された重要なデータやネットワーク保護のために新たに過剰な投資を行うことなく、安心して使用できます。

3.さまざまなオプションサービスの提供

従来、同様の管理をしていた個別のシステムから本サービスへのシステム移行を支援するサービスのほか、基幹システムとのインターフェース構築、本サービスを最大限に活用するための業務コンサルティングに至るまで、さまざまなオプションサービスを用意しています。

さらに、今後、データ分析、M2M などのビッグデータ活用サービスをオプションサービスとして提供することにより、精度の高い大量の情報を蓄積して分析するといった戦略的なデータの活用や、お客さまで保持する基幹システム上の情報との相乗活用の効果も期待できます。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
